

議会改革調査特別委員会会議録

令和7年10月27日（月）

安平町議会 議員控室

I 協議事項

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 事 件
（1）議員報酬について
- 4 閉 会

2 出席委員（9名）

職 名	氏 名	職 名	氏 名
委員長	梅 森 敬 仁	委 員	工 藤 秀 一
委 員	米 川 恵美子	委 員	小笠原 直 治
委 員	鳥 越 真由美	委 員	三 浦 恵美子
委 員	箱 崎 英 輔	委 員	高 山 正 人
委 員	高 山 正 人		

3 委員外出席議員

職 名	氏 名
議 長	多 田 政 拓

4 議会事務局出席者

職 名	氏 名	職 名	氏 名
事務局長	石 塚 一 哉	事務局主幹	鈴 木 慎 二

会 議 の 顛 末

〔開会 午後 3 時 2 0 分〕

1 開 会

2 委員長あいさつ

- （梅森委員長） それでは皆さんお集まりのようですので手短に行いたいと思います。議会改革調査特別委員会を開催します。
内藤さんが所用で欠席ですね。
-

3 事 件

- （梅森委員長） それでは前回 10 月 14 日の日にも皆さんの話をお聞きしました議員報酬についてということで、今日は確認をさせていただきたいと思います。前回の皆さんのご意見であれば来年の 3 月までにはなかなか時期的にも期間的にも間に合わないだろうというお話でした。ただ、問題点として今後話し合いは必要だなという内容だったと思います。来年 4 月には皆さんご存知のように改選期で新しくまた議員の方が入れ替わる可能性があるということで、私たちの期においては前回と今日もしご発言希望の方がいらっしゃればお話を伺って、それをまとめた上で次の方たちに基礎資料として引き継ぎをしていきたいと考えていますが、そういう方向でよろしいですか。
- （一同） はい。
- （梅森委員長） ご異議なければそのようにしたいと思います。それではせっかくの機会ですので発言する方、皆さんどうですか一言ずつでもよろしいので報酬についてのお考えがあれば、議席順に従って工藤秀一議員から発言をお願いしたいと思います。どうですか。
- （工藤委員） 私も議員報酬の見直しについては必要なのかなとは思っていましたが、この資料を見ると、ガイドブックを見るとそれなりにいろいろ時間かかる問題だなと思いますので、スケジュール的なものを考えると次の議会以降にした方がいいのかなと思いました。

○（梅森委員長） ありがとうございます。では米川議員どうぞ。

○（米川委員） 私は議員報酬を上げるってことですよね。だからその上げることに下げることで話し合いをする場ではないと思うけど、上げることには反対です。定数削減をしてから上げるのならいいのですけどね。順序としては今議員報酬のことしか議案に上がっていませんので、そのことだけを考えたら報酬を上げることには反対なので。もし次の会議にこれを提案していくのであれば、もしも他の皆さんは議員報酬値上げについて時間はかかったとしても協議していくというご意見の方が多いとしても私は反対ですので、全会一致でその方向に持って行きますとは言わないでください。そのことだけは私の方からは意見として言っておきます。

○（梅森委員長） ありがとうございます。では3番小笠原議員どうぞ。

○（小笠原委員） 私は議員報酬を上げていくことについては前向きに検討していくべきだと思って。それを決めるのは令和9年、いや次の改選が12年ですから10年度に決めて町民に明らかにしていってもらいたい。また、11年度に決めたら次の改選があるからまたややこしくなるし、私2年前ぐらいに決めておいた方がいいのではないかなと思いますし、改選期が近くなったら議員が上げてくれってなかなか言えなくなるんで、中間の時に議論して令和9年ぐらいまでの間に議論して報酬を上げていくべきだと思います。

○（梅森委員長） ありがとうございます。では4番鳥越議員。

○（鳥越議員） 私は以前から定数は変えないで、そのままで報酬は上げていくべきだと提案してきた者なので。私たちは来期、再来期、小笠原議員もおっしゃったようになかなか自分たちってということには多分ならないだろうなと。ただ、将来の議員に対して私たちが来期、もし居たらこの意見を次に伝えたいのかなと思って私は報酬は増やすべきだと思っている意見を述べさせていただきます。

○（梅森委員長） ありがとうございます。7番三浦委員どうぞ。

○（三浦委員） まず議員報酬は上げることにについて町民理解がしっかり得られるか。得られるタイミングでの引き上げならいいかなとは思いますが、まず今期での報酬引き上げの議論は難しいと思いますし、この先議員報酬を上げるだけで成り手不足の解消につながるかといったら現役労働者世代の私からしたら難しいかなと思いますね。そこら辺含め、慎重な議論は必要だと思います。

○（梅森委員長） よろしいですか。では8番箱崎議員どうぞ。

○（箱崎委員） 私も議員報酬を上げることに基本的には賛成です。ただ、その上げ幅がどうってところが難しいのかなと思います。

それと議員定数との話では全国議長会、町村議長会が大正大学の江藤教授の調査などいろいろ交えて議員定数と議員報酬は別物と考えた方がいいということも言われていますので、そこで議員定数を下げるから議員報酬を上げるとなると、ちょっと意見が町民の方の考え方もまた次じゃあ下げろ、上げるんだったら下げろってなってしまうと本当に一桁になった時に安平町という政治的な議員活動は果たして正しく機能するののかも疑問に思っていますので、そのような考え方でいます。

○（梅森委員長） ありがとうございます。では10番高山委員どうぞ。

○（高山委員） 私も前回から言っているとおりスケジュール的にかなり難しいことには違いないし、またこの資料をいただければ2年ぐらいかけないといけないというこのスケジュール表を見ると、これに最低限乗っていかないといけないということと。上げることに對しては皆さん割と肯定的に見ている方が多いかなと思うのですが、全道見てもこの資料を見てもウチの数字が低いから上げるという話にはなかなか持って行きにくくて、皆さんがいちにのさんであればできるかもしれないけど、今の状態はもうちょっと皆さんと吟味した上での提案、これは来期につなげていただければっていうのが私の意見です。

○（梅森委員長） ありがとうございます。あとアドバイザーですが議長は何かありますか。

○（多田議長） 特別委員会の委員外ですけど。ウチの歴史を見ると議員定数の削減で給料を上げるという議論も一時あったのですが、これはいろいろ問題があって議員定数はどこにするかってことは、これは皆さんで考えた方がいいと思います。議員定数が少なくなるとそれで報酬が少なくなるだけではなくて各議員の仕事量も増えてきますし、公平な判断ができるかというところにも疑念があって、過去の議員定数削減した時に非常に年数をかけてやった経緯があるのですよね。特別委員会までやって調査やってなかなか決まらなかったの。そういう経過もありますから時間が必要でしょうけど。

ただ、ウチの議員の報酬が上がった数年経過している状況というのはさまざまな状況、社会の変化もありますし議員活動の変化もあるでしょうし、年齢の上昇もあるでしょうけども。自分が現職の時に自分の給料を上げるのはなかなか厳しいものがありますのでね。我々の任期が切れる時に次年度は要求、価格はどうするにしても議員報酬を上げる方向で考えていただきたいという意見を発するべきだろうと私は基本的に思っています。その都度、基本条例の中でも毎回そういったことも含めて協議すべしとなっていたはずですので当議会が任期を迎えるにあたって数名の方々からアップをした方がという意見があるように次期の新規議員になる方たちには新しい環境でできれば議員活動していただきたいなという思いがありますので、金額がどうこうではなくて考え

ていただきたいということは、これ実際に自分たちで決められませんのでね。5万円上げてほしいと言っても決まるとは限らない。どこで決まるかというところ、執行側の組織でもって協議をしてもらうことになりますのでね。議会の中にこういった意見があるということを行政側に伝えるだけでもいいのではないかと思います。

○（梅森委員長） ありがとうございます。皆様のご意見をお聞きしました。その他、特に言い忘れたことあれば。特にありませんか。では去年と前回と今回と3回になりますが、出た内容については私たちの今期中に事務局の方にまとめていただいて、私もやりますけれども、まとめて次回の方たちの基礎資料として提供できればいいなと思っていますので、それでよろしいですね。

○（一同） はい。

○（梅森委員長） それでは貴重な時間をありがとうございました。議会改革調査特別委員会を以上をもって閉じます。

閉会 午後3時31分

会議の経過を記録してその相違ない事を証する為、安平町議会委員会条例第26条第1項の規定に基づき、ここに署名する。

令和 年 月 日

委員長 _____

副委員長 _____